

## 第3回定例研究会

## 「大津絵 ～褻の絵画～」

第3回定例研究会の講師には、大津市歴史博物館の樋爪修先生をお招きし、「大津絵 ～褻の絵画～」というテーマで講演いただきました。樋爪修先生のご経歴は、下記の通りです。

## 【講師プロフィール】

昭和27年 京都市に生まれる

昭和46年 立命館大学文学部日本史学科

入学昭和50年 同大学卒業後、立命館大学大学院文学研究科入学

昭和52年 同大学院修士課程修了

大学院在学中の昭和51年から『新修大津市史』全10巻の編纂補助として雇用され、昭和55年、大津市職員として正式採用。上記市史全巻の完結後、平成2年から大津市歴史博物館学芸員として勤務。現在に至る。専攻は、日本近世史・近代史。特に近世都市の発達や近世の交通史に興味を持っているが、平成15年、大津市歴史博物館の企画展「大津事件」を担当したことから、以前より関心のあった大津事件、特に津田三蔵自筆の書簡を題材に、明治の社会、文化について研究を進めている。主な論文に「津田三蔵書簡について」、「大津事件・帯敷車夫のその後」（いずれも『大津市歴史博物館研究紀要』）、「津田三蔵と文明開化」（『近江地方史研究』）など。また街道関係として『京都の大路小路（おおじこうじ）』（小学館）、『近江の街道』（郷土出版社）などの共著がある。

## 講師

樋爪 修 氏（大津市歴史博物館歴史普及課長・学芸員）

## テーマ

大津絵 ～褻の絵画～

## 講演日

2007年6月23日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

## 場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

## 申し込み

不要



©生活美学研究所

ホワイトボードやOHPを使ってご説明いただきました。



©生活美学研究所

ユーモアのある大津絵をたくさん見せていただきました。



©生活美学研究所

多くの方にお集まりいただきました。